

(2020年4月)

東部地域での多職種連携の取り組み



東部地区在宅医療介護連携推進協議会
東部医師会 在宅医療介護連携推進室

橋 本 涉

東部地区在宅医療介護連携推進協議会

地域包括ケアシステムの構築に必要不可欠な多職種協働による在宅医療と介護の連携強化を目的として、東部医師会と行政（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）が中心となり、平成27年（2015年）2月に設置。医療、介護、福祉、行政の各団体・職種の代表34名で構成。

東部医師会 在宅医療介護連携推進室

平成27年（2015年）4月に設置。東部医師会職員2名と行政（鳥取市）職員2名の協働で業務を実施。



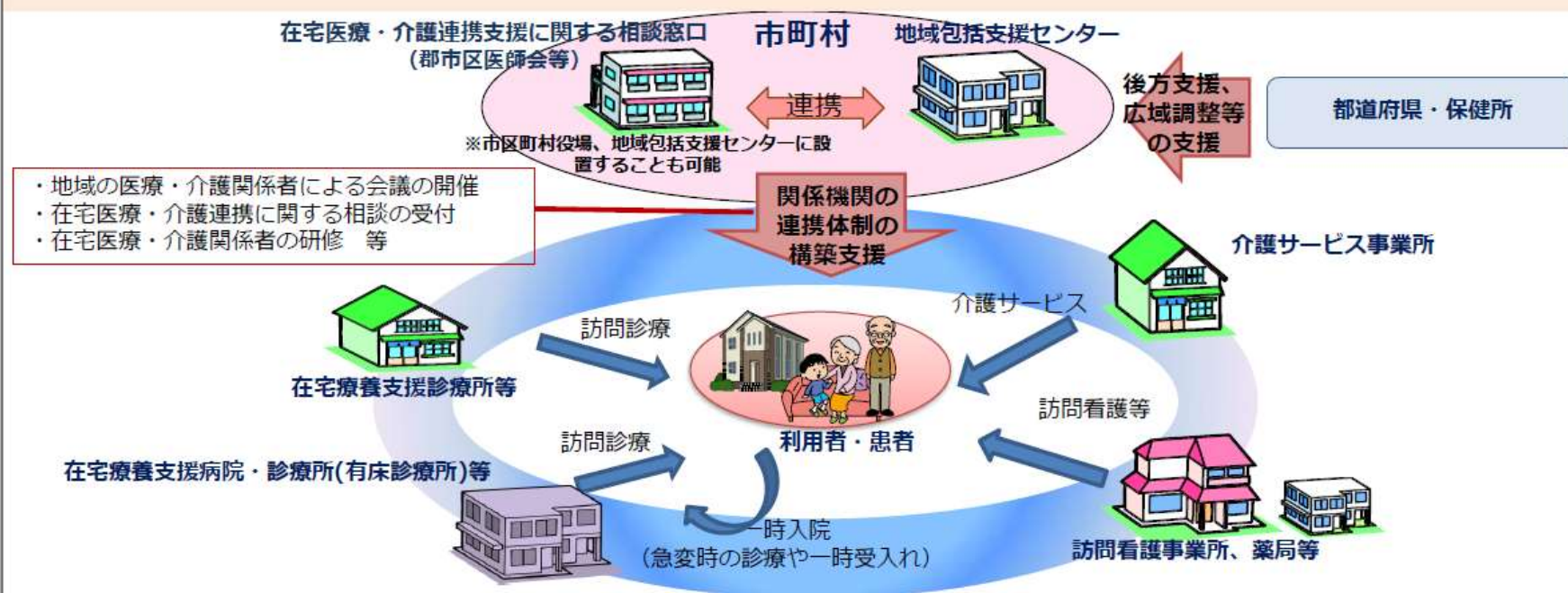
在宅医療・介護連携の推進

- 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関（※）が連携して、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要。

（※）在宅療養を支える関係機関の例

- ・ 診療所・在宅療養支援診療所・歯科診療所等（定期的な訪問診療等の実施）
- ・ 病院・在宅療養支援病院・診療所（有床診療所）等（急変時の診療・一時的な入院の受入れの実施）
- ・ 訪問看護事業所、薬局（医療機関と連携し、服薬管理や点滴・褥瘡処置等の医療処置、看取りケアの実施等）
- ・ 介護サービス事業所（入浴、排せつ、食事等の介護の実施）

- このため、関係機関が連携し、多職種協働により在宅医療・介護を一体的に提供できる体制を構築するため、都道府県・保健所の支援の下、市区町村が中心となって、地域の医師会等と緊密に連携しながら、地域の関係機関の連携体制の構築を推進する。



厚生労働省資料より

在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目の一部を郡市区医師会等（地域の中核的医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

○事業項目と取組例

（ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携パス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

（キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

（カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

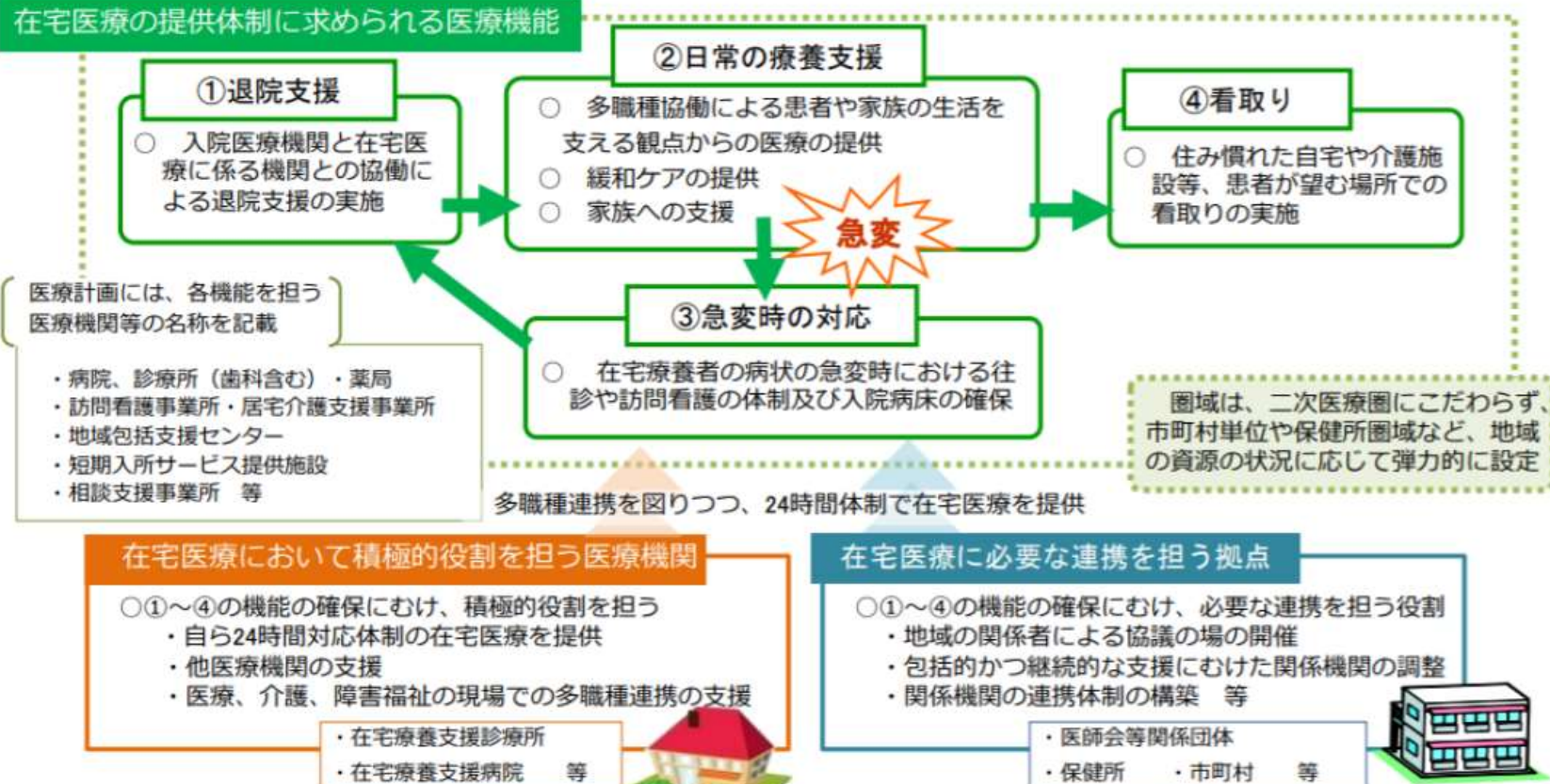
（ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

在宅医療の体制について

- 在宅医療の体制構築に当たっては、「①退院支援」「②日常の療養支援」「③急変時の対応」「④看取り」といった場面に応じた4つの医療機能を確保していくことが必要である。
- また、在宅療養支援診療所・病院等の積極的な役割を担う医療機関や、医師会・市町村等の在宅医療に必要な連携を担う拠点等の働きにより、多職種連携を図りつつ、24時間体制で在宅医療を提供できる体制の確保が重要となる。

～ 「在宅医療の体制構築に係る指針」による在宅医療提供体制のイメージ ～



在宅医療の体制構築に係る指針（疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について（平成29年3月31日医政局地域医療計画課長通知）より

東部地区在宅医療介護連携推進協議会「ワーキンググループ(WG)」(平成27～令和元年度)

総合企画WG

事業全体の企画、協議会やWGの進捗管理、未検討項目の協議、HP運用

行政WG

情報共有、意見交換、住民啓発の推進、生活支援・認知症等他施策との情報共有、保健所・因幡・但馬麒麟のまちとの連携

地域資源WG
～H29.5まで

資源調査内容の検討・実施、医療介護資源マップ作成、資源マップWEBの検討・構築

多職種研修WG

多職種研修の把握、ワールドカフェで研修項目抽出、新たな多職種研修の企画・開催、ファシリテーターと協働

住民啓発WG

住民向け学習会(寸劇)開催の企画・開催、寸劇DVD作成、パンフレット(地域包括ケア、ACP)、ファシリテーターと協働

情報共有支援WG
H30.3～

連携ツール(様式等)の現状把握と既存情報のオープン化、統一様式や情報連携ツールの検討、入退院の手引き作成

東部地区在宅医療介護連携推進協議会「ワーキンググループ(WG)」(令和2年度～)

総合企画WG

事業全体の企画、協議会やWGの進捗管理、
未検討項目の協議、HP運用など

行政・住民啓発
WG

住民啓発の更なる推進・活性化
行政間の情報共有、保健所・因幡・但馬麒麟のまちとの連携

研修支援WG

多職種研修の企画・開催・評価を一元的に実施
ファシリテーターと協働した研修会の運営

在宅療養支援
WG

在宅療養時の課題協議
情報共有のみでなく幅広く協議を実施

ACPノート企画WG
(期間限定)

ACPパンフレット一体型の終活支援ノートの企画・作成
医療機関・介護施設での活用策の検討

東部地区在宅医療介護連携推進協議会 「ワーキンググループ(WG)」

◆◆ 保健所との協働事業 ◆◆

ファシリテーター養成研修、プレゼンター養成研修を実施。

※ 多職種研修会や住民啓発活動に参画いただいています。

ファシリテーター

多職種研修会でのプレゼン・グループファシリテーション、
住民向け学習会のグループファシリテーションへの参画。
フォローアップ研修への参加。



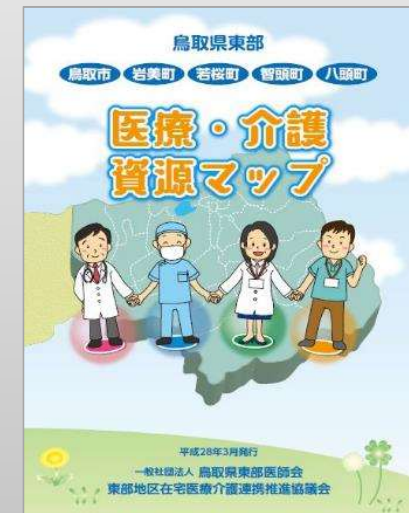
協議会・WGでの取り組み（医療・介護の資源情報の共有）

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

- 在宅の対応・内容を含めた独自調査（H27.11、H30.11）を実施（全機関回収）
 - ・保険外サービスも把握（有料老人ホーム・サ高住）

- H28.3 医療・介護資源マップ（冊子）を作成・配布

- H29.5 医療・介護資源マップ（WEB）稼働開始



キーワード	<input type="text"/>		
	事業所名や住所などを入力します。（例：渡辺病院、鳥取県東町 など） ふりがなはひらがなで入力してください。		
事業種別	<input type="radio"/> 医療機関 <input type="radio"/> 包括・居宅 <input type="radio"/> 入所・入居・小規模 <input type="radio"/> 通所・訪問 <input type="radio"/> 福祉用具		
地域（包括）	<input type="checkbox"/> 鳥取中央 <input type="checkbox"/> 鳥取西 <input type="checkbox"/> 若桜町	<input type="checkbox"/> 鳥取こやま <input type="checkbox"/> 鳥取南 <input type="checkbox"/> 智頭町	<input type="checkbox"/> 鳥取東 <input type="checkbox"/> 若美町 <input type="checkbox"/> 八頭町
地域（中学校区）	<input type="checkbox"/> 東中 <input type="checkbox"/> 桜ヶ丘中 <input type="checkbox"/> 高草中 <input type="checkbox"/> 気高中 <input type="checkbox"/> 千代南中（用瀬） <input type="checkbox"/> 智頭中	<input type="checkbox"/> 西中 <input type="checkbox"/> 中ノ郷中 <input type="checkbox"/> 江山中 <input type="checkbox"/> 鹿野中 <input type="checkbox"/> 千代南中（佐治） <input type="checkbox"/> 八頭中（郡家）	<input type="checkbox"/> 南中 <input type="checkbox"/> 湖東中 <input type="checkbox"/> 国府中 <input type="checkbox"/> 青谷中 <input type="checkbox"/> 若美中 <input type="checkbox"/> 八頭中（船岡） <input type="checkbox"/> 北中 <input type="checkbox"/> 湖南学園 <input type="checkbox"/> 福部未来学園 <input type="checkbox"/> 河原中 <input type="checkbox"/> 若桜学園 <input type="checkbox"/> 八頭中（八東）
	<input type="button" value="検索"/>		<input type="button" value="条件クリア"/>

医療・介護資源マップ（Web）検索画面

キーワード	<input type="text"/> 事業所名や住所などを入力します。（例：渡辺病院、鳥取県東町 など） ふりがなはひらがなで入力してください。		
事業種別	<input type="radio"/> 医療機関 <input checked="" type="radio"/> 包括・居宅 <input type="radio"/> 入所・入居・小規模 <input type="radio"/> 通所・訪問 <input type="radio"/> 福祉用具 以下から1つ以上選択してください <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター <input checked="" type="checkbox"/> 居宅介護支援		
地域（包括）	<input type="checkbox"/> 鳥取中央 <input type="checkbox"/> 鳥取西 <input type="checkbox"/> 若桜町	<input type="checkbox"/> 鳥取こやま <input type="checkbox"/> 鳥取南 <input type="checkbox"/> 智頭町	<input type="checkbox"/> 鳥取東 <input type="checkbox"/> 岩美町 <input type="checkbox"/> 八頭町
地域（中学校区）	<input type="checkbox"/> 東 中 <input type="checkbox"/> 桜ヶ丘中 <input type="checkbox"/> 高草中 <input type="checkbox"/> 気高中 <input type="checkbox"/> 千代南中（用瀬） <input type="checkbox"/> 智頭中	<input type="checkbox"/> 西 中 <input type="checkbox"/> 中ノ郷中 <input type="checkbox"/> 江山中 <input type="checkbox"/> 鹿野学園 <input type="checkbox"/> 千代南中（佐治） <input type="checkbox"/> 八頭中（郡家）	<input type="checkbox"/> 南 中 <input type="checkbox"/> 湖東中 <input type="checkbox"/> 国府中 <input type="checkbox"/> 青谷中 <input type="checkbox"/> 岩美中 <input type="checkbox"/> 八頭中（船岡） <input type="checkbox"/> 八頭中（八東）

検索

条件クリア



一般社団法人 鳥取県東部医師会
 東部地区在宅医療介護連携推進協議会

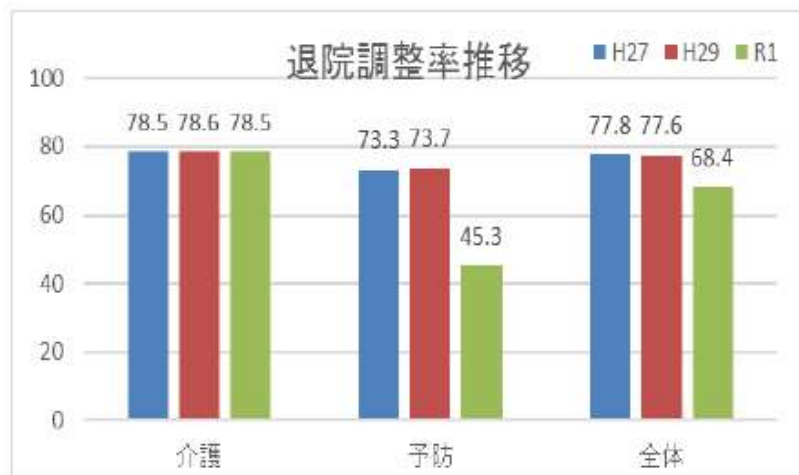
協議会・WGでの取り組み（医療・介護連携に係るアンケート調査）

（ウ）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

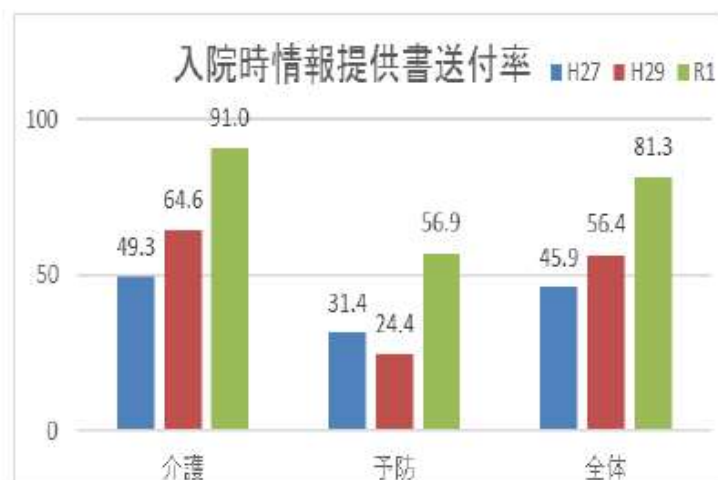
■ 医療・介護連携に係るアンケート調査（H27、H29、R元）※保健所協働事業

ケアマネジャーと病院との入退院時の連携状況を把握するため、ケアマネジャーを対象にアンケート調査を実施（R元は病院MSWへもアンケート調査実施）

<東部圏域退院調整率の推移>



<東部圏域入院時情報提供書送付率>



調査結果は、入院時情報提供書の様式統一、入退院時の手引き作成に取組みにつながった

協議会・WGでの取り組み（入退院時のケアマネと病院の手引き）

(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援

◆入院・退院時におけるケアマネジャーと医療機関、連携・情報共有の手引きの策定

ケアマネアンケート結果、厚生労働省通知を受け、東部地域の入退院ルールを策定した。
入院時情報提供書も、新たに厚生労働省提示様式に統一することとした。



(参考) 在宅医療の充実に向けた取組の進め方について (H31.1.29厚生労働省) : (4) 在宅医療への円滑な移行

病院等と在宅との間で、療養の場が円滑に移行できるよう、病院が後方支援を行うことを含めて、病院、診療所の医療関係者や、介護支援専門員等が協議を行い、在宅医療圏ごとに必要な入退院ルールを策定することが重要であり、都道府県はその支援を行うこと。

協議会・WGでの取り組み（関係者の相談支援）

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

◆ 東部医師会在宅医療介護連携推進室の職員（兼務）で運営（H28.11～）

■ 医療・介護関係者からの相談のみ

■ 住民からの相談は「地域包括支援センター」

東部医師会在宅医療介護連携推進室

在宅医療・介護連携「相談支援」業務のお知らせ

医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談への対応業務を行っています。

病気を抱えても住み慣れた地域で生活が続けられるよう、東部地域の医療・介護に関わっている方からの在宅医療・介護連携に関する相談を受け付けます。相談は、看護師・社会福祉士・行政の推進室職員が担当します。


相談対象 東部地域の在宅医療・介護サービスを提供している関係者
(注) 住民からの相談は、受付けていません。
お近くの地域包括支援センターが、高齢者の総合相談窓口です。

受付日時 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時まで
(土・日・祝日、年末年始はお休み)

在宅医療・介護連携推進事業

(オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。



協議会・WGでの取り組み(医療・介護関係者の多職種研修)

(カ) 医療・介護関係者の研修

(多職種研修) 東部在宅医療・介護連携研究会 (年4回開催)

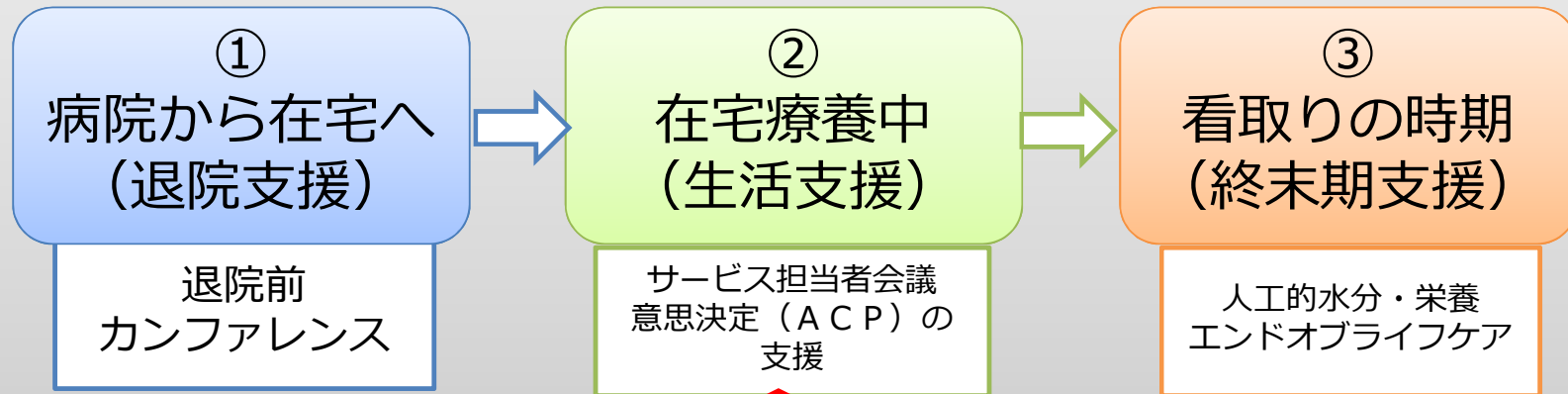
- 実際におこった在宅事例をとおして、解決策を多職種で考える。
- 参加する多職種の顔の見える関係づくり。



- 第1回 (H27年6月) ~第20回 (令和2年2月) 延べ1,169名参加

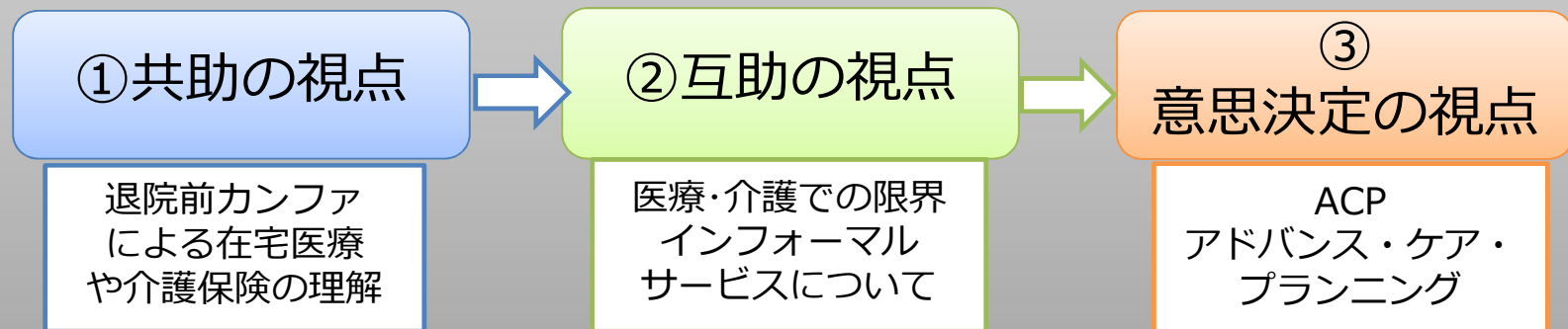
多職種研修プログラム & 住民啓発プログラム

(多職種研修) 地域包括ケア専門職“絆”研修 (3回シリーズ)



共通した、仮想の症例で、研修を実施

(住民啓発) 我が家(うちげえ)に帰りたい (寸劇2部構成)



協議会・WGでの取り組み(医療・介護関係者の多職種研修)

(カ) 医療・介護関係者の研修

(多職種研修) 地域包括ケア専門職“絆”研修 (3回シリーズ)



- 第1回“絆”研修 H29年4月～10月(3回シリーズ) 延べ257名参加
- 第2回“絆”研修 H30年1月～6月(3回シリーズ) 延べ151名参加
- 第3回“絆”研修 H30年9月～31.3月(3回シリーズ) 延べ140名参加
- 第4回“絆”研修 H31年4月～元.12月(3回シリーズ) 延べ149名参加

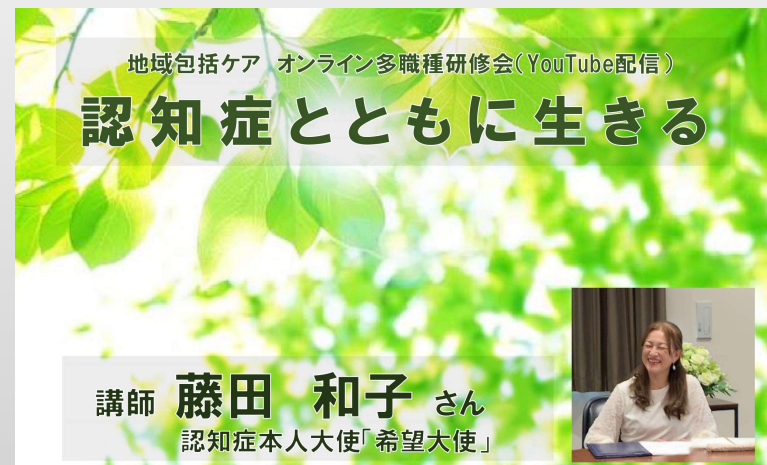
協議会・WGでの取り組み(医療・介護関係者の多職種研修)

オンライン研修動画「認知症とともに生きる」

- ① オープニング (目的、講師自己紹介、研修テーマについて)
- ② Part 1 「認知症」どんなイメージを持っていますか
～新しい認知症のイメージに向けて～
- ③ Part 2 「希望」をもたらす専門職へ
(※ 限定公開・要申込み) 8/7より一般公開
～医療・介護の専門職のみなさまへ、
わたしからのメッセージ～
- ④ Part 3 そばにいて、ともに歩む「パートナー」に
～パートナーのいる安心感、
お互い同じ目的があって成長していくもの～
- ⑤ Part 4 認知症とともに生きる、みんなの「希望大使」
～すべての本人・住民が、希望をもって
ともに暮らしていけるように～



鳥取県東部医師会在宅医療介護連携推進室



認知症があってもなくても同じ社会、地域の中でともに生きるために、認知症の本人のおはなしを伺い、認知症に関する理解を深めていただきたいと考え、動画による研修を企画・作成しました。

【7月21日より順次配信】

- ① オープニング(講師紹介、研修テーマなど)
- ② 「認知症」どんなイメージ持っていますか
- ③ 「希望」をもたらす専門職へ(限定公開※)
- ④ そばにいて、ともに歩む「パートナー」に
- ⑤ 認知症とともに生きる、みんなの「希望大使」

※③「希望」をもたらす専門職へ、の動画は限定公開のため視聴申込が必要です。(無料)

スマートフォン・タブレット端末で動画の視聴をされる場合は、大量のデータ通信を行いますのでWi-Fi環境下での視聴を推奨します。

お問合せ・お申込み

鳥取県東部医師会 在宅医療介護連携推進室

TEL:0857-54-1970

FAX:0857-54-1971

Mail:toubuzaitaku@helen.ocn.ne.jp

<http://www.toubu.tottori.med.or.jp/zaitaku>

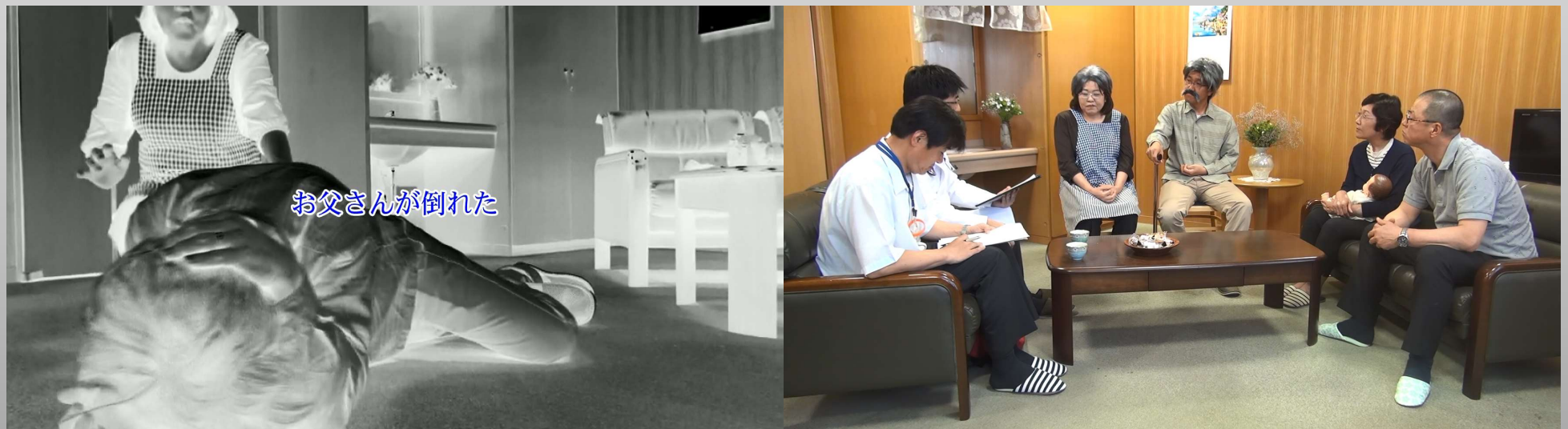


(キ) 地域住民への普及啓発

住民啓発 寸劇DVD「我が家(うちげえ)に帰りたい」

- 第一部 退院後の在宅生活、本人・家族の思いと不安
- 第二部 将来の不安、いざという時のことを考えていますか？ 伝えていますか？

裕次郎とひばりは高齢の2人世帯。裕次郎さんが脳梗塞で倒れて、救急車で入院。退院する前、在宅療養中に家族や医療・介護関係者と話し合います。



協議会・WGでの取り組み(地域住民への普及啓発)

ACPパンフレット (H29.11~)

さいごまで自分らしく 豊かな人生のための わたしたちの心づもり



まずは、考えてみましょう、話し合ってみましょう、という内容寸劇（DVD）とあわせてACPについても住民に普及啓発

【課題】医療・介護の関係者が知らない。関係者・事業所への周知活動も実施中です。

協議会・WGでの取り組み(地域住民への普及啓発)

終活支援ノート「わたしの心づもり」を作成(平成30年6月～)

【目的】

人生の最終段階における医療・介護についてあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことの必要性を理解していただき、**ACP(アドバンス・ケア・プランニング)**を実践する活動につなげていくことを目的としています。



【ノートの特徴】

- ACP啓発パンフレット(さいごまで自分らしく豊かな人生のためのわたしたちの心づもり)とあわせて活用することで、啓発効果を高めます。
 - 繰り返し話し合った気持ちが残せるよう、もしもの時の医療や介護のページが3回分あります。
 - 複数の市町(連携中枢都市圏)共同で取り組みます。(全国的に珍しい取り組みです)
- ◆ 1市5町で同内容の住民啓発を行っています。

協議会・WGでの取り組み(地域住民への普及啓発)

- 実際の寸劇によるモデル開催 H29/2/26
 - 地域で保健や福祉の役割を担っている方々 (参加者 51名)
- H29年度 (住民向け 7回 209人 : 関係者向け 8回362人参加)
- H30年度 (住民向け37回1,498人 : 関係者向け29回980人参加)
- R01年度 (住民向け37回1,220人 : 関係者向け 4回158人参加)

◆ 延べ4,400人以上が参加



(ク) 関係市区町村の連携 (新たな広域連携)

地域住民の生活 (医療) 圏と行政がつくる圏域は一致しない！！



※ 東部1市4町と新温泉町 (連携中枢都市圏の形成) H30.4~
令和2年度からは、香美町も

取り組み内容の詳細は、ホームページをご覧ください

<http://www.toubu.tottori.med.or.jp/zaitaku>

LINE公式、はじめました

研修会の案内等をします
友達追加よろしくお祈いします



LINE

東部医師会在宅医療介護連携推進室（公式）



QRコードでLINEの友だちを追加

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン> [QRコード]を
タップして、コードリーダーでスキャンしてください。